

時事新報定價

時事新報 一年三百六十五日 日休刊セズ 其代價 送料廣告料ハ左ノ如ク

一 一月前金五十圓 ○三月前金一圓五十圓 ○六月前金三圓

○一年前金六圓

○時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ送付スルモノニ限リ 右定價ノ外ニ一月月二六日ノ送付料ヲ申付

○月曜日、大衆新聞ノ翌日并ニ週末等諸報ノ新聞紙休刊日ノ外ニ時事新報ノ配達ハ一月前金八圓ニ付 但し郵便配達ノ地方は此外一紙に付一圓ニ付ス

時事新報廣告料前金

一行二行	一行三行	一行四行	一行五行	一行六行	一行七行	一行八行	一行九行	一行十行	一行十一行	一行十二行	一行十三行	一行十四行	一行十五行	一行十六行	一行十七行	一行十八行	一行十九行	一行二十行
六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上
六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上	六日以上

政黨論 在ボーストン某生

歲月の経過を水の流に喩へたるは古人の名案にして其経過の速なるは實ハ油斷の出来ざるものなりとのことを示したるものならん明治廿三年に至り急々國會を開くべしとの教令ありし其時には世の壯年輩は或は其期を永きよ過ぎたるものとして往々不平の言論を發したる者ありしかども今日に至りては已ニ其期も明年も切迫し未だ手筈も充分に行き届かざる其内に最早開議の期に達し迫りたり余輩固より政治家にあらず國會開議の後に至りて平生の主義を變ずるにもあらず飽まで局外に中立して事の條理を糾し人智開導の趣を察して世の變遷を審み静かに前途の方向を定めて大に後世の爲めに計畫する所ある者なれば國會など云ふ人事の一局部にのみ身を委ねて天の約束、人の運命を忘却するが如き卑劣の者にはあらざれども如何にせん自國の利害は自から忘るゝも能はず何事にあれ荷も世の人心も感動を興へ世間に波瀾を生ずるものあれば其事の政治に關するも否と又余輩自家一身の好惡を關するも否とを辨むに違わらず悉く之を記して之が説をなさざる可らず余輩の自から好む政治を敢てするにあらざれば世間の爲め強ひられて止を得ず政談する者として世人皆許へり我れ固り隱むるを得ざるの有様なり左れば今日世の人心に感ずる所は國會開議の一段にして第一人の注目する所は政黨の一事に在るが故に聊か左に其事を説かん抑も政黨なるもの起因は其主義の異同に依りて成り立つものにて其主義を分るるか又は其主義を統一する時は固より黨を分て自他の別をさすべし蓋し其在昔英國の政黨の如きは即ち政治上の主義を異にして一は守舊、一は改選と分れたるものにて其改選黨の會に曰く天の此人を生ずるや始よりして貴賤上下の區別あるものあらざるが故に固より人民は同權として四海は兄弟なり然るも或は貴族を以て參政の權を定め或は貴族に限りて之の特權を與へ富を以て貴を制し強を以て弱を壓するとは實ハ賤れなき次第なるが故に宜く貴族の特權を削ぎ參政の區域を擴めて以て人民同權の主義に隨ふべしと又其守舊黨の言に曰く現在世の有様を察するに人々貴富強弱の差あるは勿論又智慧賢不肖の別ありて其同權同力からず已ニ同力からざれば隨て其權も同力すべからざるは理の最も明白なる所なり人民の同權は天の公遣なりと云ふて其説は立つべけれどるも是は所謂權を擴めて之の方便にして現世の實際に應ずべきものあらざり余輩にして是なるは却ち其人の不仕合なるが故に固く不平を忍び富強を以て

替あるもの制衡を被らざるべからずと兩黨の主義斯く判然として相分れ其勢相近づくを得ずして恰も水火の相容れざるが如くして時としては干戈の沙汰に及びたるもどあり然るも人智發生の勢は之を止めんとして止むべからず其勢は恰も大河の決するが如く荷も其衝に當りて之が妨礙をなすものあれば其もの何物たるも論なく悉く水勢に押し倒さるゝの儀にして今日に至りては守舊の議論も全く述を絶ち世は改選自由の秋となりたり外面に於ては守舊改選の兩黨今尙は英國の政治社會を存し互に權を爭ふは昔日に異ならずと雖も唯政黨の名目のみとして別に主義を異にするに依りて然るにあらず守舊黨の政略却て改選黨より過激なるものあり或は改選黨にして却て守舊黨の政をなすとありて今日の其名は其實ありて而して後存するよ

近頃に至り我國在野の政治家は往々黨派政治の必要なるを感じ政黨を組織せんとて頻に奮力奔走する者ありても如何なる故も何分にも人心の結合宜しからず忽ち集りては忽ち散り俄に起つては俄に倒れ其榮枯盛衰の速なるは恰も夏の草木の如く又又電氣の如く消極極の兩端互に相吸引して容易に一所に集合すも雖も一度も集合して兩端相接するときは又忽ち相衝却して互に近づくを得ざる由、甚だ奇觀と云ふべし現在の有様に於て既に斯の如くなれば後來の始末も亦必ず之を類するとなるべし黨派政治の爲め誠以て惜むべき事なれども是亦今日我國の人心なれば如何にもすべからざる次第なり斯も離合定りなきの人心を結合するは果して如何なる手段を以てすべきやなど其實際

會するも今の政府を目して頑固守舊の黨派とは云ひ難たからん或は其施政百般の中は時として自由改選の趣意に背くものもあらん或は壓制も似たる所行もあらん然れども是等は其本色をあらすして唯政府たり有權者たり主権者たるの地位を附屬する偶然の弊害のみ今の政府の成立たる由來を爾來今日に至る迄の舉動を觀るときは斷じて之を守舊の政府と云ふべからざるは無論その實は政府も亦是れ改選自由の黨派にして在野の政黨に對して敢て主義の源を異にする者もあらず其主義已に同じ尙は何物も對して自由改選の別をなさんとす事か前後の始末不都合なりと云ふべし故に今の在野政黨の目的は果して政府に對して其施政の是非を評し其の中心を射通して自家の志を達せんとする者ならんを以て實を害するも政府の方針守舊ならば我れは改選自由を唱へ、政府改選ならば我れは守舊を主張し華美に飾飾に急進に漸進に長短黑白都て他に反對して自己の説を張らんとするの覺悟を定めたらば是に於てか始めて政黨の體を成して人心を結合に足る可し徒に弓術の流名に拘泥して中るべき矢を放たざる者は射に拙劣者と云ふ可きのみ余輩固く其の所見此の如し世の政治家は別に妙案あるや否や

官報

○内務省告示第四號 明治十八年二月第六號告示國道表第六號中路線變換ニ付有雙ヲ除ク 明治廿二年二月廿二日 内務大臣伯耆松方正義

○岡山縣の政況一斑 同縣下は昨年來政社組織の騒ぎ起り彼の備作政社なるものは重に縣會議員を以て組織したる改進黨派の俱樂部にて目下會員は四十餘名に達しり次々起りたるは郷黨俱樂部にて岡山區内の實產家を以て組織し會員既に五十餘名に達せしが備作政社は同主義を以て組織したれば其基礎固然たれども郷黨俱樂部は其主義とする所漠然たれば結合力も隨て弱きが如く或は同俱樂部は多少自治黨の興あり排斥すれども要するに備作政社は活潑有爲の士に富み郷黨俱樂部は長老と金力とに富みり云ふべくして共に未だ何等の運動も爲さず只陰然勢力を養ひ居るものゝ如し此外大同團結を唱ふる言論者なきにあらざるも其數極めて少なし云々と同地よりの通信

○香港の商況 目下清曆正月にて萬般の商事未だ排々しき運に至らず即ち石炭類は着荷多からずして三池高揚は約定渡のみあれば市價に變動なく筑前此處六弗位あり又樟腦は少しく氣配好く四百樽每樽廿八弗にて手合ありたり米も本年は西貢出荷少しく後るゝの氣構へにてもあるか相場稍々引上げたり云々と去る九日香港發の信書に見えたり

○興理の鏡 漢以美教會の機關新聞ある興理の鏡は其持主は米人スワーツ氏あるが其體裁半ば日本文を以て記載しあるは付我邦の條例を遵守すべしとの事と同類事へ其筋より照會せしに付同氏は今度五百圓の保證金を出し來月より發刊するよし

○大坂農肥會社設立の計畫 大坂四區及接續郡村の尿屎は一箇年凡五百四十萬荷、此代價三十萬圓内外に達するものなるが此の需用者は攝河兩國の農民並に山城邊の製茶人等を以て重なるものとし且つ之れが買取法は一様ならずと雖も大坂尿は家主、尿は其住民と約

(英) 封皮 凡百圓
 (英) 封皮 凡百圓
 (英) 封皮 凡百圓

横濱郵便汽船發着
 三月六日 船名 來者
 三月廿五日 船名 來者

○大坂農肥會社設立の計畫
 ○興理の鏡
 ○大坂農肥會社設立の計畫